

～ 「松本探究」の風景から ～

地域を知り世界を見る それは「自分と向き合うこと」



●10月3日(金)は1年生の「松本探究」の日。グループごとに立てた「問い」の深掘りをするため松本市内に出て自分の目や耳で実際に確かめる日となりました。大きく18グループに分かれ、小グループで市役所や企業様に出向いたり、女鳥羽川沿いの散策や市立博物館での探究などが行われました。このうち、3つの小グループ15人は校長室に訪れ、私と懇談。グループで「練り直した問い」に対し、私の考えとしての「返答」と、懇談により問いを展開させました。「松本市内4校の志願倍率が高いのはなぜか」「どこも同じ普通科なのになぜこんなに個性が違うのか?」といった率直で素直な質問も出ました。ちょうど今、各校の「特色化」について揉み込んでいるところ、1年生のフレッシュな考えも聞けて私にとってとても有意義な1時間になりました。未来への問いの発信に向けて地域や世界の現実から目をそらさず、さらには「自分を知る」学びも追究していきましょう

●7日は第2回公開授業日。551名の中学生、地域・保護者の皆様が来校されました。それにしても生徒たちはお客様が来校しても惑わされずよく勉強してます! 模様替えした美術室には授業が無い時間もたくさんの中学生が入室し、「いいなあ♡」と、本校生徒たちの作品やカラフルな教室を嬉しそうに見回していました

●9日書道部「知事表敬」に県庁に伺いました。7月からの大会、EXPO、中国派遣・・・と休むことなく続いた時間はこの表敬をもって3年生のまとめとなりました。ほんとうにお疲れ様でした。世界へ発信した「問い」、国境を越えて平和を語る言語として「書」を通じ懸け橋となってくれた生徒たち。すばらしい活躍をありがとう!

